

こんな活動です

地域の祭りへの参画
～人のために働くことは大切なんだ。～

玉名		●活動名		●関係する学校名					
		音と光の祭典		荒尾市立荒尾第一小学校					
活動区分	学びによるまちづくりや地域課題解決型学習	地域人材育成	郷土学習						
	地域行事への参加・参画	ボランティア・体験活動	学校周辺環境整備	外部人材を活用した教育プログラム					
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	学校運営協議会	有	無	企業・NPO等との連携	有	無
	0人		1人						

● 活動の概要・特徴や工夫

6年生が授業の一環(総合的な学習の時間)として地域の祭り「音と光の祭典」に参画する。地域の町づくり委員会と協働で祭りを運営する。会場は、校区にある宮崎兄弟の生家である。祭りは、子供たちが参画してから大勢の方で賑わうようになってきている。

子供たちは企画、会場設営、当日の仕事、後片付け等、一連の活動を行う。当日の主な仕事は、受付、案内、司会、スタンプリナー、紙芝居、震災募金、出店等である。平成28年度文部科学大臣賞を受賞。

● 活動の様子



祭りの実行委員会の方と児童代表で話し合います。



地域の方、保護者等大勢の前で取組を発表しました。



祭りで、自分達ができることを学級で話し合います。



祭り当日は雨、体育館等での開催になりました。



● 地域学校協働活動における効果・成果

子供、地域、学校(教職員)

○平成30年度の「地域と学校の連携・協働」実践交流会で「音と光の祭典」の取組を発表した。その中で代表の子供は「人のために働くことは大切だと分かった。」「お客さんや友人とたくさん話せた。」と述べていた。会場からは、「子供たちの主体的な取組に感銘した」等の声が聞かれた。

○子供たちは5年生の時、6年生からの引継ぎを受けており、6年生でこの祭りへ参画することが子供たちの目標となっている。4年生で地域清掃、5年生で地域文化祭への参加等の地域貢献が教育課程に位置付けられ、学校あげて地域貢献活動に取り組む。

○祭り当日は、自分達で考えた役割を自分たちの力で地域の方と協力しながら取り組んでいる。